

根底に差別 基地問題向き合わない本土

憎悪

「沖縄ヘイト」言説を問う

〈1〉

沖縄の米軍基地反対運動を扱った東京MXテレビの番組「ニュース女子」は、一から十まで事実に基づかない、ひどいものだった。

同局がこの問題とどう向き合い、放送倫理・番組向上機構(BPO)がどう判断するのかはつきりしないと、コメンテーターを務めている同局の番組には出られないと考え、今後の出演を断つた。

沖縄の全市町村の首長たちがオスプレイ配備撤回を

ジャーナリスト

津田 大介さん(43)



「本土の人は沖縄の問題にもつと関心をもつべきだ」と語る津田大介さん=東京都港区で

つだ・だいすけ 1973年生まれ。東京都出身。ジャーナリスト。テレビ、ラジオ、新聞、雑誌、ネットメディアと幅広い分野で活躍。インターネットの政治メディア「ポリタス」の編集長を務める。

今回、深刻なのは、同レベルのものが地上波で放送されてしまったことだ。ほのかのメディアはこの問題に対して、もっと怒るべきだ。そうしないと、政府が放送に介入するきっかけをつくってしまう。

求め、二〇一三年に東京でデモしたときに、「おまえら中国人の手先か」「死ね」などと、ひどい言葉を方の根底にあるのは沖縄への差別意識以外のなにものでもない。私は翁長雄志知事が当選した二〇一四年の沖縄県知事選から沖縄の問題を継続題から目をそらし続けてきた結果として、沖縄の現状がある。本土の人が基地問題と向き合わないのは、そくすれば、本土による基地

ある。現状は「沖縄が犠牲になつてよ」と言っているのと同じ状態。でもそうは言いくらいから、基地に対する人を「中国の手先だ」と批判することできかしている。

ネット上には都合のいいド建設反対のために建設現場付近のテントに集まつた人たちが、手をあげて写真が発信された。これは「県外から来た人、手をあげてください」という呼び掛けに応えた場面。これを見ると反対運動しているのは県外の人ばかりに見える。私はこのとき現場にいたのだが、テントの外にもつと多くの県民がいたのに、それを無視している。

例えば、高江のヘリパッド建設反対のために建設現場付近のテントに集まつた人たちが、手をあげて写真が発信された。これは「県外から来た人、手をあげてください」という呼び掛けに応えた場面。これを見ると反対運動しているのは県外の人ばかりに見える。私はこのとき現場にいたのだが、テントの外にもつと多くの県民がいたのに、それを無視している。